乙川小学校 校長通信 No. 1

指_一九红

令和2年4月7日発行 半田市立乙川小学校 発行責任者:森下正康



令和元年度の占年生は、突顔で巣立っていきました



新型コロナウィルスの影響で様々な制限の中での卒業式となりました。何より突然の休校により、ほとんど式の練習をしていない6年生は、不安いっぱいで開式の時を迎えたに違いありません。

ぶっつけ本番の6年生は、本当に立 派でした。



業証書を手に退場する



卒業証書の授与では、担任が一人一人の名前を呼びました。一年間の思いを込めて名前を呼ぶ担任と、「はい」と返事する6年生の間には、今年一年間の心のつながりを感じました。



卒業の歌は、「いつ練習したの?」と思うくらい素敵な歌声でした。1年生から歌い続けた校歌は、六年間の集大成を感じさせる体育館中に響き渡る最高の歌声でした。 この6年生は笑顔の似合う子たちでした。退せるなる見ながら、これから失れ彼らの笑顔

この6年生は笑顔の似合っ子たちでした。退場する姿を見ながら、これから先も彼らの笑顔が輝き続けてほしいと願いました。

占年生を送る会

1~5年生が歌やダンスで6年生に感謝の気持ちを表した「6年生を送る会」。これが令和元年度最後の登校になりました。最後を6年生と在校生の心の通い合う会で締めくくれたのが、せめてもの救いでした。





